



UIFA ニュース

発行 宇治市国際親善協会

事務局 〒611-8501 宇治市宇治琵琶33 宇治市役所秘書広報課内
電話 0774-22-3141(内線2058) FAX 20-8776
Eメール hishokohoka@city.uji-kyoto.jp ホームページ <http://uifa.news.coocan.jp>

第 87 号
令和2年(2020年)3月

..... 友好都市ヌワエリヤ市を訪問

当協会の会員で構成するヌワエリヤ市市民訪問団(団長・今川博氏を含む12名)が2月5日から2月13日までの日程でスリランカを訪れ、2月6日～2月9日の間、宇治市の友好都市ヌワエリヤ市を訪問しました。参加した団員の訪問記をご紹介します。



「ヌワエリヤ市訪問記」 副団長 辻 久

宇治市国際親善協会と宇治市グラウンド・ゴルフ協会が共催で実施をした友好都市スリランカ・ヌワエリヤ市市民訪問団に参加をしました。

今回の訪問は、スリランカ国・ヌワエリヤ市にグラウンド・ゴルフを普及させようという大きな目的があります。当初は2019年7月に訪問予定でスタートしましたが2019年4月21日にスリランカ国内でテロ事件が発生し、やむなく延期し今回の訪問となりました。このUIFAニュース87号では、ヌワエリヤ市に滞在していた4日間のご報告をしたいと思います。

訪問団日程：(出発)2020年2月5日(帰国)2020年2月13日

ヌワエリヤ市滞在期間：2月6日～2月9日

団員人数：12名(男性8名 女性4名)



2月5日

早朝に宇治市を出発。関空から一路スリランカのコロombo空港へ。空港には現地時間で23時30分到着。通関を経て入国した真夜中、2018年に宇治市に来られたスサンダさん達3名が花束を用意して出迎えてくださいました。これには一同大感激です。(写真①)

2月6日

象の孤児院や世界遺産の仏歯寺を見学し、ヘアピンカーブの連続した山道を通りヌワエリヤ市に向かいました。翌日からヌワエリヤ市の訪問やグラウンド・ゴルフの講習があると思うと身が引き締まる様でした。

2月7日

ヌワエリヤ市が用意してくれたバスに乗り市役所に向かいました。正門の前から玄関までスリランカ民族舞踊で出迎えてくれました。玄関には宇治市旗とヌワエリヤ市旗が飾られています。玄関ではカルナラツネ市長が議会で着る正装姿で全員を迎えてくださいました。

その後、会議室へと案内されましたが、この間も市役所のほとんどの職員さんに温かい拍手で出迎えていただきました。歓迎の挨拶に続く今川団長のお礼の言葉の後、私からカルナラツネ市長に山本市長からの親書とお土産を手渡しました。その後の歓談では、余興に子どもたちが踊りを披露してくれました。

(写真②)(写真③)(写真④)(写真⑤)

その後少し市内を観光し、いよいよグラウンド・ゴルフの講習会です。予め20人ぐらい来てくれれば有難いとお願ひしていたのですが、なんと総勢で40人ほどが来てくれました。グラウンド・ゴルフ場はクラブハウスとともに美しいグレゴリー湖のほとりに造られていました。後ろの山は殆どが茶畑で素晴らしい環境の中にあります。講習会では女性や、子供たちも興味深く中川副団長の説明を聞いています。その後、待ちかねた

ように参加者はめいめいにクラブとボールを持ち、ゲームを始めます。

(写真⑥) (写真⑦) (写真⑧) (写真⑨)

2月8日

この日は、ヌワラエリヤ市の案内で、キリスト教、仏教、ヒンズー教の三つのお寺が同時に見られる場所や、紅茶工場を見学し市内観光を楽しみました。

夜は歓迎会が催され、参加者たちとの交流を大いに楽しみました。(写真⑩)

2月9日

いよいよグラウンド・ゴルフ交流大会当日となりました。大会前に記念植樹と記念碑の除幕式を行いました。その後、市長や副市長、コミッショナーや今川団長たちによる始球式を行いゲームがスタートしました。ヌワラエリヤ市民の方々はゴルフをされている方も多く皆さん大変お上手で、子供たちや女性も多く参加してくれました。成績は、上位4名がヌワラエリヤの方で、我々訪問団では、5位に今川団長が入り、かろうじて面目を保ったという交流大会になりました。

(写真⑪) (写真⑫) (写真⑬)

今回の訪問は、これからヌワラエリヤ市内でグラウンド・ゴルフが盛んになり、多くのヌワラエリヤ市民選手団が宇治市を訪れて宇治市民と交流大会を行い、両市の友好と交流がますます深まる予感がするものとなりました。(写真⑭)



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪



⑫



⑬



⑭

「語学講座を開催」

今年度は「こども英会話」と「初歩のスペイン語」の2講座を2019年8月21日(水)から10月16日(水)までの全8回、生涯学習センターで実施しました。今年度は「こども英会話」のクラスを3クラスに分けて開催しました。それぞれの講座について紹介します。



「こども英会話」

2019年度の「こども英会話」講座は8回という短い期間ですが、子供達が少しでも英語に興味を持ってくれて、外国人に接する機会を持てるように企画されました。各クラス45分で8月21日から毎週水曜日18時から20時15分。クラス分けは1・2年生、3・4年生、5・6年生の3クラス。

講師は2年連続でマイケル=ワイコフ先生をお迎えしました。マ

イケル先生は教育委員会の小学生向けのカリキュラムも少し考慮に入れてのレッスンを加えてくださり、少し難しいところもありましたが、子供たちは先生のヘルプも受けながらこなしていました。

すでに英語を個人的に学習している子供、していない子供もあり、子供たちが学年にこだわらず自分に合ったクラスを選ぶことにも柔軟に対応もしていただきました。

2年連続で受講した子供たちは先生の雰囲気にも慣れて昨年度よりも活発にレッスンを受け、先生の大きなジェスチャーを交えて何度も発音の練習をしたり、先生の英語を聞いて絵本の絵を探して塗り絵をしたりレッスンの飽きる間もなくアツという間にレッスンが終わりました。「年間何度もこのような講座があればいい」と、保護者の方からの声があり、子供達からも「楽しかったので又受講したい」と、感想をいただきました。

≡ ≡ ≡ ¡ Hola ! ¿ Qué tal ? オラ ! (やあ !)、ケ・タル ? (どう ? 元気 ?) ≡ ≡ ≡



世界21の国と地域で話されているスペイン語の講座が2016年に始まって昨秋で4期、もう延べ40人近くの市民がこの国際語の講座を楽しんでいます。アルファベットも初めてという人から昔スペイン語圏に住んでいたという人まで経験にも幅があり、受講目的も、スペインのバルでタパスやワインを注文してみたい、いつか本場でフラメンコに挑戦したい、娘がメキシコで働いているのでラテンアメリカの文化や言葉を理解したい、ペルーの世界遺産ナスカ地上絵や天空の都マチュピチュを訪ねたい、などと様々。

講師は、日本在住の女性と恋に落ち愛の磁力でペルーから宇治に吸い寄せられたイケメンのペルー人男性、博士号の研究で大学院に留学中のメキシコ人女子学生、それをアシストするのは還暦を過ぎてから独学でスペイン語を始め滞日ラテンアメリカ人の生活支援ボランティアをしているジイさん、という珍コンビ。たった8回の講座にもかかわらず脱線はしょっちゅうで、文法の学習だけでなく生活や自然や旅行の話など何でもありのワイワイ教室。

まずはスペイン語と知り合いになり、スペインやラテンアメリカを身近に感じられるための初歩の初歩の入門講座。それでも簡単な旅行会話は皆さん習得、さらには宇治在住のスペインやラテンアメリカの方をゲストに招いて自己紹介しあったりと、講座は市民同士の国際交流の場にもなっています。

【ロシア民族楽器楽団「メテリッツア」 と芸術文化協会が演奏交流】

京都府とロシア・レニングラード州の友好締結25周年を記念して、芸術の都サンクトペテルブルクよりロシア民族楽器楽団「メテリッツア」(15名)が1月23日宇治市を訪問、宇治市芸術文化協会の70名が集い生涯学習センターで演奏交流会が開催された。

「メテリッツア」は年間100回以上のコンサートを行い、諸外国で高い評価を得ている。民族アンサンブルをはじめクラシック、ポップミュージックなど多くのレパートリーがあり交流会では、「カリンカ」「碧い湖を見つめて」「牧草地のアヒル」など、2部に分け11曲を披露された。

宇治市芸術文化協会は大正琴ファンタジー“琴音人”が「さくら～夜桜お七」「じゅんがら」、梅田恒弘さんはハーモニカ演奏で「トロイカ」「母さんの歌」等、三曲協会は箏と尺八で「春の海」「荒城の月」、マリンバ演奏の川野蓉子さん達はロシア人作曲の「剣の舞」「道化師のギャロップ」等を演奏し、素晴らしい音色を響かせ、お互いに音楽談義に花を咲かせた。それぞれの国の楽器を爪弾き、記念写真を最後に交流会が閉会した。



一行はその後、市内で昼食、宇治川添いを散策し、対鳳庵でお茶を楽しみ、宇治を後にされた。翌 24 日に京都市内で、25 周年記念コンサート「レニングラードのタベ」～芸術の都サンクトペテルブルクより～ が府民ホールで開催された。



4月25日 国際交流講演会 「オーストラリア人から見た日本とは」



講 師 ナット・ペットマン さん（元宇治市 A E T オーストラリア出身）

日 時 令和 2（2020）年 4 月 25 日（土） 14：00～15：20

場 所 宇治市生涯学習センター 第 2 ホール

定 員 先着 70 人

参加費 無料

※宇治市国際親善協会会員以外の方もご参加いただけます。

※講演会終了後、宇治市国際親善協会総会を行います。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止もしくは延期することがあります。

令和 2 年度宇治市国際親善協会総会を 4 月 25 日（土）、宇治市生涯学習センターで開催します。総会開催前に、恒例の「国際交流講演会」を開催します。

今回は、平成 24（2012）年 7 月に外国青年招致事業（J E T プログラム）により宇治市に来られた、ナット・ペットマン氏に「オーストラリア人から見た日本とは」をテーマに講演していただきます。ペットマン氏は宇治市に来られてから 5 年間、宇治市教育委員会の英語指導助手（A E T）として勤務され、市内の小中学校で英語教育や放課後の児童活動などの指導を歴任され、人柄も良く指導力に長けている、と当時より高評価を得られています。

現在も大津市内の中学校で英語指導助手として活躍されています。

雑観雑感

先般、宇治市国際親善協会第 4 回運営委員会が開催されました。昨秋のカムループス市の来訪やヌワラエリヤ市市民訪問団派遣の報告事項、令和 2（2020）年度の総会・講演会、カムループス市公式訪問団派遣について等が主な議題の会議でした。併せて国際親善協会のあり方等「小会議」の報告もあり、久しぶりの議論が白熱する会議でした。

とりわけ、第 86 号まで発行の U I F A ニュースにも、どのように配布し、どれだけの人に購読されているか、紙面・記事等の内容も工夫の余地があるのでは等々の意見も出ました。協会の活動やお知らせ、市内・市民の国際交流の行事報告をもっと充実してみてもは。その為には、個人・団体会員や多くの皆さんから記事の提供を頂きたい。

是非、87 号をご覧の皆さん、U I F A ニュースは会員や団体会員、国際親善関係者の交流の場や交差点として身近な国際親善に係る記事をお寄せ頂ければ、より紙面の充実がはかれるのではと考えます。皆で作る「U I F A ニュース」に！

記事の投稿の詳細は事務局に問い合わせ下さい。（T . Y）